日本産業技術史学会2018年度第2回理事会議事録

日時：2018年10月7日（日）　11：00～13:30

場所：名古屋工業大学24号館418号室

出席者：麓和善、天野雅敏、石村眞一、鈴木淳、平野恭平、廣田義人、堀尾尚志、馬渕浩一

委任状：田中一郎、夏目賢一、橋本毅彦

欠席：市川浩、亀井修、武藤夕佳里、山田大隆

議事案件

1.　2020年の年会開催予定地について

前回理事会で、金沢工業大学での開催が提案されていたが、2020年8月に国立近代美術館工芸館の金沢への移転が予定されているため、その後の方がよいのではないかと夏目賢一理事から意見があった。審議の結果、2020年は東京大学で、2021年に金沢工業大学で開催することとした。

2.　日本技術史教育学会との連携について

　標記学会のメンバーから活動の連携について打診があったことに関して、互いに活動内容について十分な理解がないので、まずは学術的な相互交流を試みることとした。

報告事項

1.　本会運営の状況(財務)について

廣田理事から資料に基づき、2018年度の現在までの収支状況について、特別な出費はなく、平常的な支出であるとの説明があった。会費納入状況については、会員137名のうち、2018年度まで完納102名、1年未納20名、2ないし5年の滞納11名、6年以上の滞納4名との説明があった。会費納入が見込めない場合は除籍することを申し合わせた。

2.　本会運営の状況(会員の動向等)について

廣田理事より、現在の会員数は137名で、2016年の入会10名、退会1名、2017年の入会6名、退会4名に対して、2018年は現在までに入会11名、退会9名となっており、わずかながら入会が退会を上回っているとの報告があった。

3.　会誌(冊子版)の編集及び発行予定について

欠席の田中理事から事前に寄せられた報告によると、22巻1号について、現在、論文1本掲載可、論文と研究ノート各1本査読中で、書評1本がある。４月以降新規投稿がないが、１冊分のページ数になり次第発行する予定とのことである。

4.　会誌(電子版)の編集及び配信予定について

石村理事より、前回理事会以降、論文1本を新規に掲載し、計4本が掲載されている、現在、配信予定はない、との報告があった。

5.　来年度年会の開催について

来年度の年会は神戸山手大学(井上尚之実行委員長)で開催し、日程は6月15・16日の予定である。

6. その他

組織拡大について意見交換をし、次回理事会で十分な検討ができるよう、組織拡大につながる具体的提案や、入会候補者のリストアップなど、理事各自が事前に事務局(会長)に提案することを申し合わせた。